

令和3年3月31日

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト  
「つながるひろがる にほんごでの暮らし」

## 新たな言語と場面を追加しました

文化庁は、「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、外国人が生活場面に応じた日本語を学習できるICTを活用した教材を開発・提供しています。今回、その教材に言語と場面を追加して公開しました。

### 1. 趣旨

我が国の在留外国人は、約288万人（令和2年6月末現在）となっており、増加傾向にあります。このように、日本語教育に対するニーズが高まっていますが、地域によっては「生活者としての外国人」対象の日本語教室がない市区町村（以下「空白地域」という。）が多数あります。そのため、空白地域に住む外国人等を対象として、生活に必要な日本語の学習機会を提供することを目的として、ICTを活用した日本語学習教材の開発・提供を行っています。

今回は、これまでのサイトに新たな言語と場面を追加し、より多くの外国人に活用していただき、生活場面の日本語を学べるように充実させました。

本サイト URL <https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/>



## 2. 概要

### (1) 追加言語（4言語）

インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール語（カンボジア語）

※これまでの6言語に追加し、アジアの言語を新たに4言語翻訳し導入しました。

### (2) 追加場面

これまで運営してきた18場面に、さらに10場面（銀行、クリーニング、買い物（返品・交換等））を加え内容を充実させました。このことによってさらに約500のことばや、約30の文型が学べるようになりました。



### 【参考】

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト  
「つながるひろがる にほんごでの暮らし」

### ○内容

日本語を初めて学ぶ外国人を想定し、身近な生活の場面で使用する日本語の学習が可能となるよう、動画中心の日本語学習教材として設計。また、地域の日本語教室等での学習教材としても活用可能。

公開 URL <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

### ○対象 国内に在住する外国人等

### ○提供言語

10言語 英語、中国語（簡体字）、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、日本語に加え、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール語（カンボジア語）を追加。

### ○その他

- ・無料／登録不要。パソコンの他、スマートフォン表示にも対応。
- ・外国人や日本語の指導者が本サイトを活用しやすいように「使い方ガイドブック」や、広報ツールとしてパンフレットや宣伝用動画も併せて公開。

本サイトの広報ツール URL <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/about-link>

※本サイトは、文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、凸版印刷株式会社に委託して開発・運営するものです。

<担当> 文化庁国語課  
地域日本語教育推進室 室長補佐 津田  
専門職 北村  
日本語教育指導・普及係長 鈴木  
電話：03-5253-4111（内線 4895、2839）  
FAX：03-6734-3818  
E-Mail：[nihongo@mext.go.jp](mailto:nihongo@mext.go.jp)